



最終号

No. 19 / 74

有脇小学校校長だより

2022・3・24

立派に巣立っていききました



3月18日、「令和3年度卒業式」が行われ、19人の6年生が卒業しました。本年度の最後の卒業生の卒業証書番号は“2900番”でした。有脇小学校から毎年送り出す卒業生の数が、卒業証書番号を記し始めてから、ちょうど2900人目を記しました。この数からも、有脇小学校の歴史や伝統がうかがえます。

本年度の卒業式も、コロナ禍で愛知県にはまん延防止等重点措置が発令されている中で行われました。当初は5・4年生（1から3年生は休校）を式場に入れて行う計画でしたが、当日は5・4年生は教室でリモート参加とし、代表者4名が、別れの言葉の場面だけ（祝電披露の間に入場し、担当部分が終了したところで退場）参加しました。それでも、卒業式の数週間前から“6年生を送る会”や“卒業式準備”などで、気持ちを伝えることができました。当日も“お別れパレード（雨天のため校舎内廊下で実施）”で感謝の気持ちを伝えることができました。卒業生が保護者、地域の方、教職員、後輩にしっかり思いを伝えることができた、温かな卒業式でした。

今年も勇躍しました

卒業おめでとうございます！ ありがとうございました



卒業式には出席できませんでしたが、在校生が顔写真とメッセージを卒業生に贈りました。写真は一人一人だったり、グループだったりしました。卒業生が式場に入る前に通る階段に掲示されました。ここでもいろいろな思いが卒業生に届きました。卒業生の中には、このメッセージを見て、涙を流している人もいました。気持ちは確かに伝わります。それをしっかり証明してくれました。



3月24日、令和3年度の修了式が行われました。まん延防止等重点措置が解除されたので、体育館に全学年（1から5年生）が集まりました。今年1年もコロナ禍で、思うように活動することができませんでしたが、“中止するのではなくできる方法を工夫しよう”という方針の下、子どもたちにはできるだけ普段と同じような活動をさせてきました。また、さまざまな活動を見直すよい機会にもなったと思います。コロナ禍はしばらく続きそうです。でも有脇小学校はくじけません。これから先も“小規模校”のメリットを生かし、どんどん進化していきます。これからも有脇小学校をどうぞよろしくお願いします。ありがとうございました。